

し ぶ し じょう あと 志 布 志 城 跡

1. どんなお城？

うちじょう まつおじょう たかじょう しんじょう
内城、松尾城、高城、新城の4つの
やまじろ
山城をあわせて「志布志城」とよびます。
山城とは、山や丘など防御に有利な地形に
つくられた「とりで」のような城です。山
や丘を切り盛りしてつくられていて、
てんしゅかく たてもん
天守閣のような高い建物はありませぬ。山
城は戦いのときに立てこもるための城で
したので、城主は戦いのとき以外は城の外で生活していました。



内城の復元模型

2. いつのお城？

志布志城は中世の山城です。中世とは、平安時代のおわりから戦国時代ま
で、せいれき
西暦1192年くらいから1573年くらいまでを言います。お城がつけられた
年代は、はっきりしていませんが、1336年には存在していたことが記録に残
されています。また、えど
江戸時代にはいって1615年ごろには、お城としてのやくわり
役割
を失い、戦いのためには使われなくなりました。展示してある模型は、
ようす そうぞう
1574年の様子を想像してつくられています。

3. だれのお城？

志布志城の城主(お殿様)は、きもつきし にれいし はたけやまし
肝付氏→楡井氏→畠山氏
にいろししまづし きもつきししまづし
→新納氏→島津氏→肝付氏→島津氏と、つぎつぎとかわり
ました。特ににいろ
新納氏は、1357年から1538年までの約180年間
にわたり、おさ
志布志を治めていました。



4. 大きさはどのくらい？

うちじょう
内城の大きさは南北約500m、東西約250m。面積は約97,000㎡、サッカー
ほんまる ひょうこう
フィールド(7,140㎡)だと約13.5面分です。内城本丸の標高は約54mです。

5. 宝物はあった？

志布志城からは、中国や東南アジアで作られた、皿やツボなどの焼き物が発見されました。また、日本各地の焼き物も見つかっています。さらに、中国、朝鮮(いまの韓国)、琉球(いまの沖縄県。当時は独立した国でした)のお金が見つかっています。



これらの品物は、志布志の港を通して、海の向こうから運ばれてきたものです。志布志の港は、国内だけでなくアジアの各地とつながった、国際的な貿易港でした。貿易で利益をあげ、船でものを早くたくさん運べる港は、重要な場所でした。志布志城の城主がつぎつぎに変わったのは、多くの武将が港を手に入れようとしたためでした。

6. どこにあるの？

内城は、志布志小学校の裏山にあたります。お城の時代、小学校の場所には城主の館があり、敵が攻めてくると山城にたてこもって戦いました。

内城は史跡公園として公開されています。当時のサムライたちの気持ちになって、城攻めを体験してみてください。敵をよせつけない、きびしいお城の姿を見ることができるともかもしれません。雨のあとはさけて、虫よけの長そで長ズボン、運動ぐつのような動きやすい服装で行きましょう。

